



AP合同フォーラム 2016.2.22

# 学修成果の可視化とFD活動

玉川大学 教学部長 稲葉興己



# 事例報告の概要

- APの取り組み
- 学修成果の可視化
- FDの展開



# 玉川大学の概要

東京都町田市玉川学園6-1-1

学校法人玉川学園（1929年） 玉川大学（1947年）

キャンパスの面積：61万m<sup>2</sup>

文学部・農学部・工学部・

経営学部・教育学部・

芸術学部・観光学部

リベラルアーツ学部

8学部17学科・

6研究科

学生数：7,568名

教員数：296名

職員数：291名



特徴：K-16が同一キャンパス



# 大学教育再生加速プログラム（AP）

## 【事業概要】

本事業は、**アクティブ・ラーニング実施科目の体系化**を図り、それぞれの科目でどのようにアクティブ・ラーニングが行われるかを学生に明示すると同時に、アクティブ・ラーニングが適切な指導のもとで行われるように、**教員の教育力の養成**を目指すものである。加えて、学生には、アクティブ・ラーニングの有効性を高めるために、複数の専門的な支援スタッフを配置し、対応する。

教員に対しては、アクティブ・ラーニングの手法を分類したうえで、その到達目標と適切な評価方法を教員間で共有できるように**全員参加型のFDプログラムを実施**する。アクティブ・ラーニング形式の授業を大幅に増やし、ルーブリックを採用することで、学修到達目標を明確にするとともに、**学生の授業外学修時間を十分に確保**する。

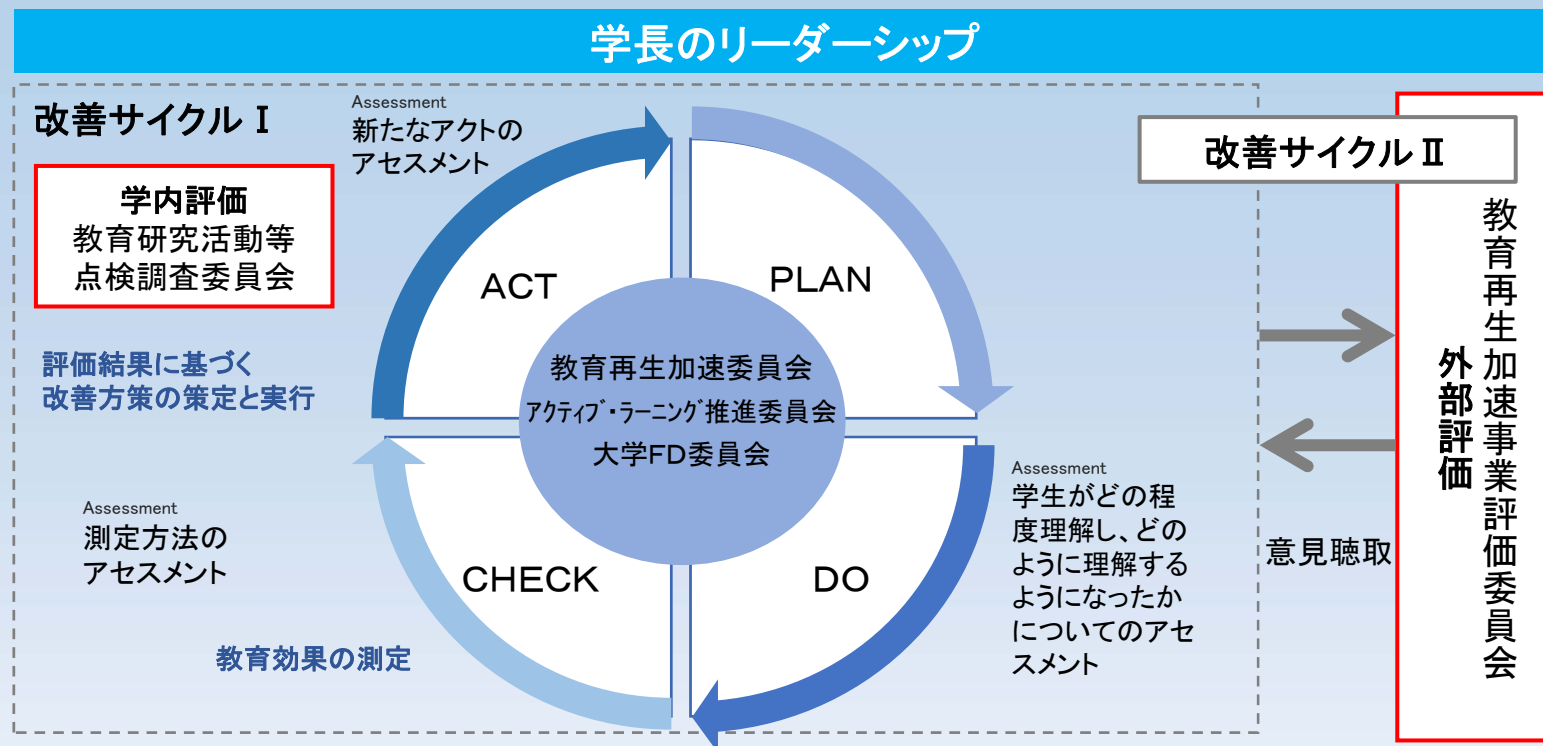
これにより、授業満足度および学修到達度等にかかわる全学的な教  
学マネジメントの改善を図る。さらに、学修成果の可視化を促進し、  
実社会に有効な**学生のコンピテンシー開発**につなげていく。





# 大学教育再生加速プログラム（AP）

## ＜本事業の実施・推進体制＞





# 学修成果の可視化に向けた 取り組み

- 入学時に英語のプレイスメントテストを実施
- 学生ポートフォリオの活用により、授業をとおして獲得したコンピテンシーを学生が測定
- 定性調査（担任面談）における学修プロセスの把握・学修指導
- 大学IRコンソーシアム学生調査を実施
- ジェネリックスキル測定テストを実施
- 卒業生調査を実施



# 英語教育プログラム

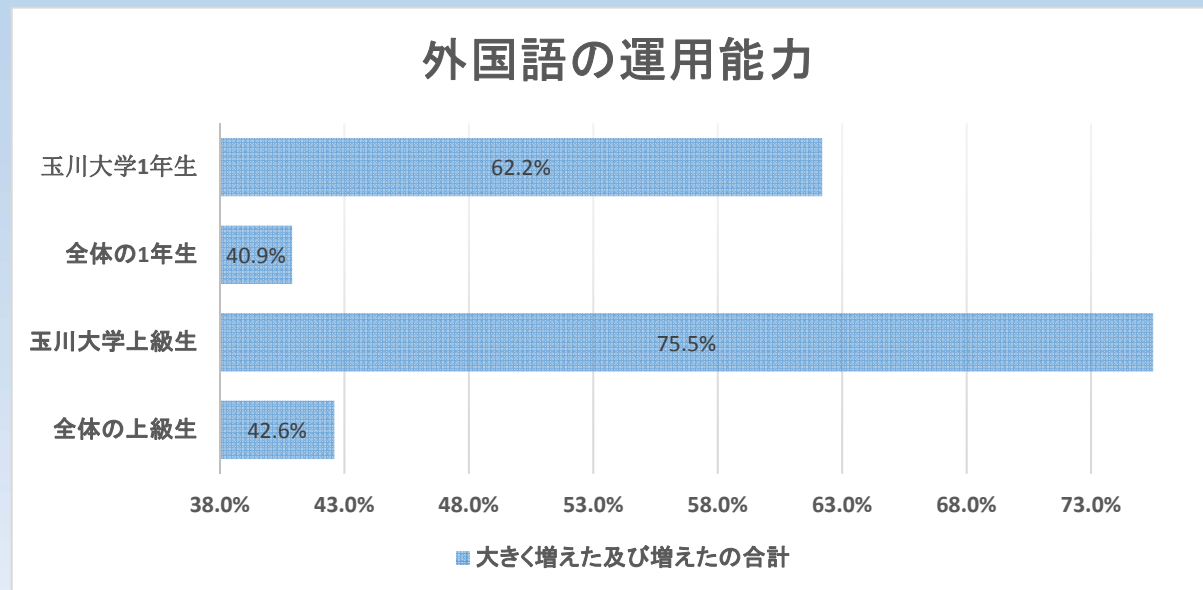
- ELF (English as a Lingua Franca)
  - 共通の母語を持たない人同士のコミュニケーションに使われる英語
  - 英語使用者の80%は、第二言語あるいは外国語として英語を使用しているノンネイティブスピーカー
  - 国際共通語としての英語を使いこなし、世界中の人々と多様な場面でコミュニケーションが図れる英語力を身に付けさせることを目標にした全学共通のプログラムで全8学部で導入
  - ELF101～ELF402 (各4単位・計32単位分開設)
  - すべての教員はTESOLまたは応用言語学の修士課程を修了



# 学生調査

## 大学IRコンソーシアム

2014年度 8大学間連携（北海道大学・お茶の水女子大学・琉球大学・大阪府立大学・同志社大学・関西学院大学・甲南大学・玉川大学）の調査より

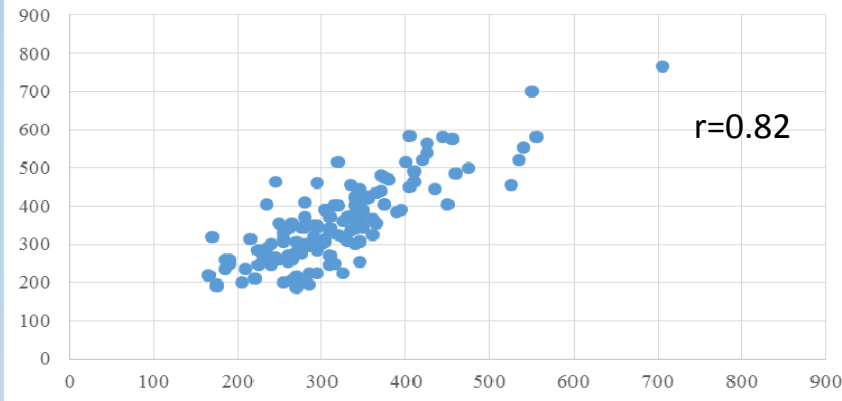




# TOEIC IP



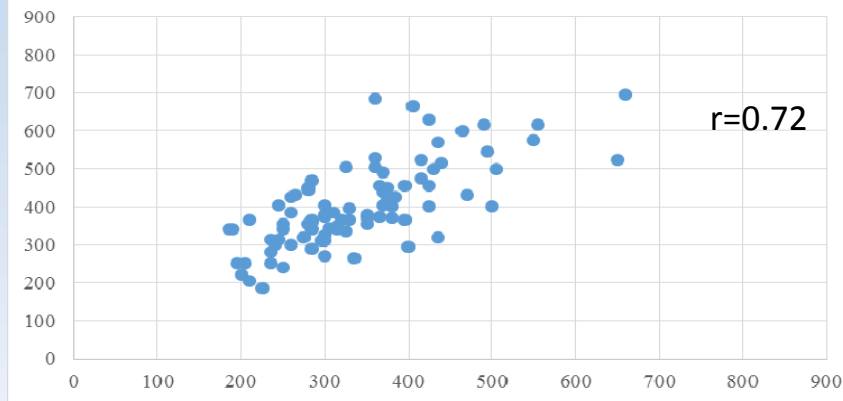
社会系学科 2012 Spring = 2013 Fall TOEICスコア



N=139

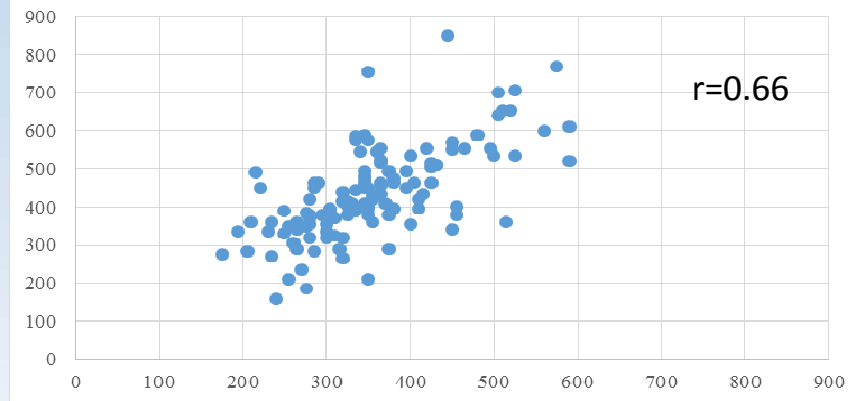
玉川大学ELFセンター

社会系学科 2012 Spring = 2014 Fall TOEICスコア



N=89

人文系学科 2012 Spring - 2014 Fall TOEICスコア



N=124



# 本学が定めるコンピテンシー (社会で働き続けるうえで必要な能力)

**工学部マネジメントサイエンス学科 教育課程表**

●: 必修科目 ◆: 必修選択科目 無印: 選択科目 ○: 他学科受講可 -: 履修不可 (集中): 集中開講

学年/学期	科目名	単位	授業時間(分)	開講期	履修条件	他学科受講	備考	授業を通して修得できる力												
								知識・理解		汎用的技能			態度・志向性							
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
ユニバーシティ・スタンダード科目																				
PHIL 201	現代文明論	2	100	春				●												
HIST 101	歴史(世界)	2	100	春								●								
HIST 103	歴史(日本)	2	100	秋									●							
IS 101	情報科学入門	2	100	秋																●
IS 105	データ処理	2	100	春				●		●										
CHEM 101	化学入門	2	100	秋				●												
ESP 101	環境科学	2	100	春																●
MATH 101	数学入門	2	100	春					●											
MATH 103	解析学入門	2	100	春秋					●											
MATH 105	代数学入門	2	100	春秋					●											
PHYS 101	物理学入門	2	100	秋				●												
UNIV 111	総論対談(英語)	1	50	春				●			●									
UNIV 113	総論対談(英語)	1	50	春				●												
ENG 103	英語 I	2	100	春				●												
ENG 105	英語 II	2	100	秋				●												
ENG 107	英語コミュニケーション	2	100	春				●	●											
JPN 103	日本語表現 101	2	100	春				●												
導入科目群																				
ENGR 111	導入ゼミ	2	100	春	●	△			●				●	●						●
ENGR 113	工学基礎演習	1	100	春					●		●									●
MATH 111	解析学 I	2	100	春秋	◆			●		●		●								
CARE 113	キャリアデザイン	2	100	秋	●								●							●
ENGR 112	工学基礎 I	2	100	秋	◆				●				●							
IS 112	プログラミング I	2	100	秋		△				●	●									
ENGR 114	技術英語	2	100	秋				●	●						●					
MATH 114	数学演習	2	100	秋		△			●		●		●							
MATH 116	代数学 I	2	100	秋春	◆				●	●		●		●						
PHYS 112	物理学 I	2	100	秋春		○			●	●		●		●						
MASC 215	経営システム工学概論	2	100	春	●				●								●	●		
ENGR 221	工学基礎 II	2	100	春					●				●							●
MASC 217	経営情報分析実習	1	100	春	●				●		●		●							
MASC 219	ケースメソッド	1	100	春	●				●				●							



# 授業を通して修得できる力

## 知識・理解

- 多文化・異文化に関する知識の理解
- 人類の文化、社会と自然に関する知識の理解

## 汎用的能力

- 問題解決力
- コミュニケーション・スキル（読む、書く、話す、聴く）
- 数量的スキル
- 情報リテラシー
- 論理的思考力

## 態度・志向性

- 自己管理能力
- チームワーク
- リーダーシップ
- 倫理観
- 市民としての社会的責任
- 生涯学習力

# シラバス



## 授業を通して修得できる力 (Competency Goals)

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル Mathematics	
	情報リテラシー Information Literacy	
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力 Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	自己管理能力 Self-management	
	チームワーク Teamwork	
	リーダーシップ Leadership	
	倫理観 Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility	○
	生涯学習力 Lifelong Learning	



# 学生ポートフォリオの活用

2013年度以降入学生対象

ラーニング・ポートフォリオ (正課内活動)	学生生活ポートフォリオ (正課外活動)
<ul style="list-style-type: none"><li>履修科目をとおして修得したコンピテンシーを確認・評価(自己評価)</li><li>履修科目の学修内容を記録</li><li>SA=スチューデント・アシスタントとしての活動を記録</li><li>教職履修カルテ機能(教職課程履修者のみ)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>所属クラブ・サークル、大学行事とのかかわりなど学生生活全般についての活動を記録</li><li>ボランティアなどの社会貢献活動を記録</li><li>ビジネス活動(アルバイトなど)を記録</li><li>就職活動を記録</li></ul>



# 学生による授業の振り返り

2015年 秋学期 1年

科目担当者:

科目名 : 一年次ゼミ 102

曜日時限 : 金曜5限 金曜6限

戻る

総合評価シート

## 科目評価

※入力にあたり、右記の記号は使用できません。 < > | ” ¥

※スマートフォンからの入力に不具合が生じる可能性があるため、PCから入力するようにしてください。

### 汎用的技能

知的活動においても職業生活や社会生活においても必要な技能を身につけている。

評価凡例 S:秀 A:優 B:良 C:可 F:不

設問	評価
コミュニケーション・スキル 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。	<input type="radio"/> S <input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> F

### 態度・志向性

積極的な態度や明確な目標を持って行動している。

評価凡例 S:秀 A:優 B:良 C:可 F:不

設問	評価
チームワーク 他者に協調、協働して行動できる。	<input type="radio"/> S <input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> F
リーダーシップ 他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。	<input type="radio"/> S <input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> F

### 学生コメント

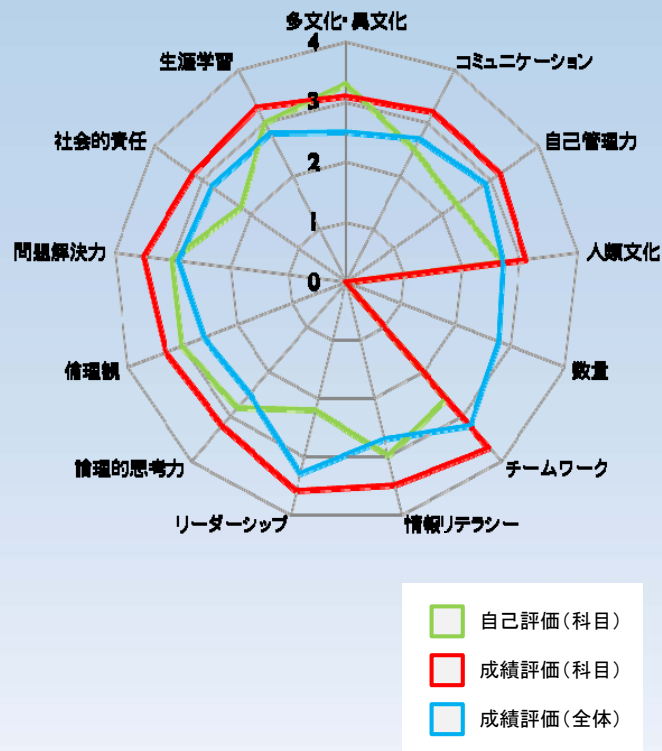
保存 提出

戻る



# 学修成果 (成績評価レーダーチャート)

## 文系学部レーダーチャート

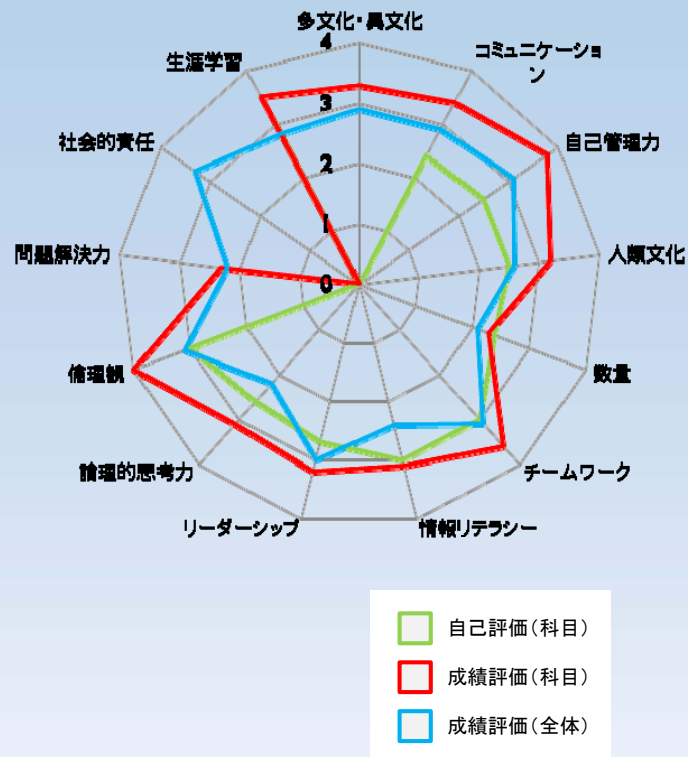


学士力	授業を通して修得できる力	自己評価(科目)	成績評価(個人)	成績評価(全体)
知識・理解	多文化・異文化に関する知識の理解	3.3	3.1	2.5
	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	2.7	3.1	2.7
汎用的技能	コミュニケーション・スキル	2.5	3.2	2.7
	数量的スキル	0.0	0.0	2.8
	情報リテラシー	3.0	3.5	2.7
	論理的思考力	2.8	3.2	2.5
	問題解決力	3.0	3.5	2.9
態度・志向性	自己管理能力	2.3	3.2	2.9
	チームワーク	2.6	3.7	3.2
	リーダーシップ	2.2	3.6	3.3
	倫理観	3.0	3.3	2.6
	市民としての社会的責任	2.2	3.2	2.8
	生涯学習力	3.0	3.3	2.8



# 学修成果 (成績評価リーダーチャート)

## 理系学部リーダー チャート



学士力	授業を通して修得できる力	自己評価(科目)	成績評価(個人)	成績評価(全体)
知識・理解	多文化・異文化に関する知識の理解	0.0	3.3	2.9
	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	2.5	3.2	2.6
汎用的技能	コミュニケーション・スキル	2.4	3.4	2.9
	数量的スキル	2.4	2.3	2.1
	情報リテラシー	3.0	3.1	2.4
	論理的思考力	2.6	3.1	2.2
	問題解決力	0.0	2.3	2.2
態度・志向性	自己管理能力	2.5	3.8	3.1
	チームワーク	3.0	3.6	3.1
	リーダーシップ	2.7	3.2	3.0
	倫理観	3.0	4.0	3.1
	市民としての社会的責任	0.0	0.0	3.3
	生涯学習力	3.0	3.5	2.8





# 定性調査により見えてきたもの

担任面談：平成27年10月～12月実施

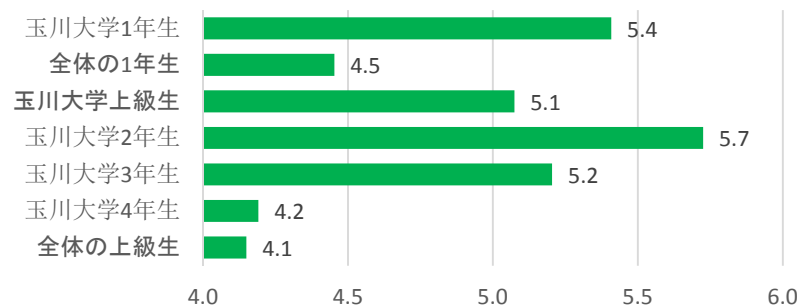
- 学生ポートフォリオの記載内容に基づいて面談
  - 今まで知り得なかった学生の様々な事情を把握することができたため、生活面や学業面での指導等、学生によって今後の接し方を変えていく必要がある
  - 学修目標を目指して学修を進めている学生がいる一方で、目的意識が低い学生は、日常を何となく過ごしている
  - 学力の高低に関係なく、悩みを（一人で）抱えている学生が複数いる
  - 1日の生活の中で、タイムマネジメントができている学生とそうでない学生の学修時間の差が大きい



# 大学IRコンソーシアム学生調査

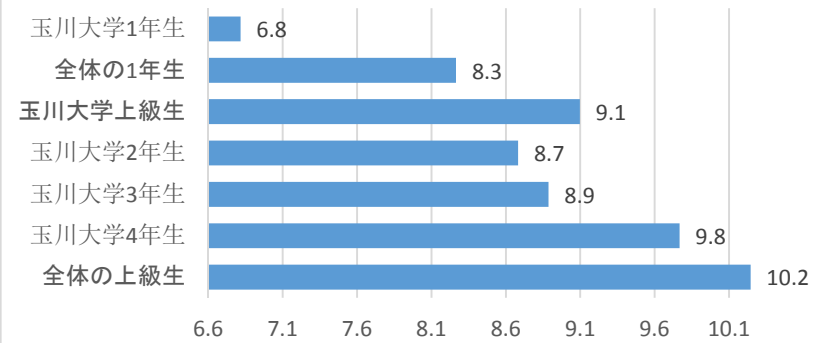
## 2014年度 8大学間の比較

授業時間以外に、授業課題や準備学習、  
復習をする平均時間



	全体の上級生	玉川大学4年生	玉川大学3年生	玉川大学2年生	玉川大学上級生	全体の1年生	玉川大学1年生
■平均	4.1	4.2	5.2	5.7	5.1	4.5	5.4

大学外でアルバイトや仕事をする



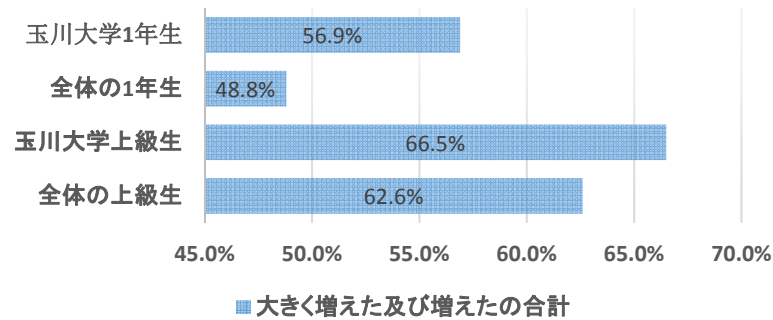
	全体の上級生	玉川大学4年生	玉川大学3年生	玉川大学2年生	玉川大学上級生	全体の1年生	玉川大学1年生
■平均	10.2	9.8	8.9	8.7	9.1	8.3	6.8



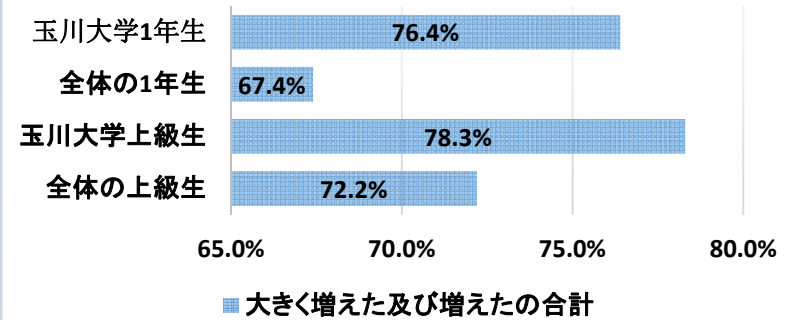
# 大学IRコンソーシアム学生調査

## 2014年度 8大学間の比較

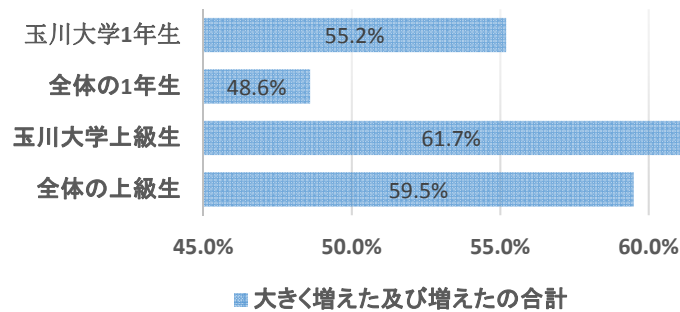
### 文章表現の能力



### コンピュータの操作能力



### 時間を効果的に利用する能力

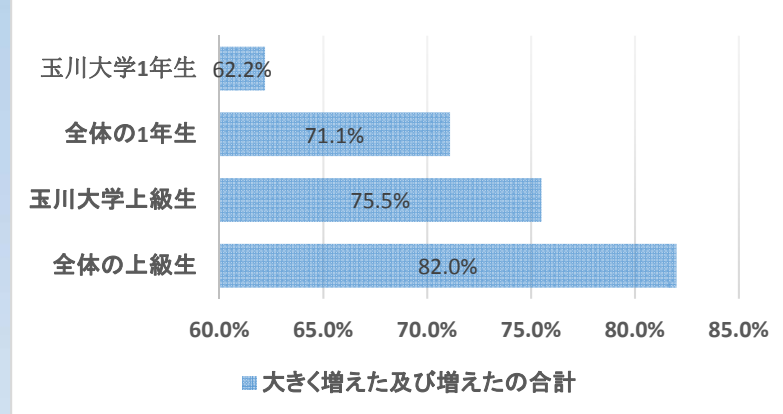




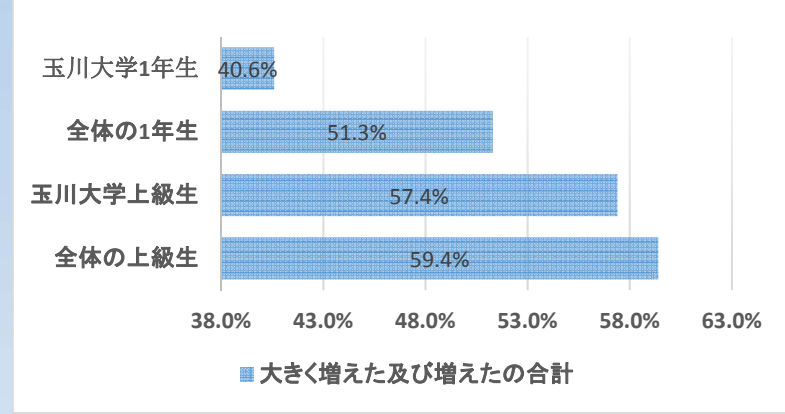
# 大学IRコンソーシアム学生調査

## 2014年度 8大学間の比較

### 一般的な教養



### 異文化の人々に関する知識



# ジェネリックスキル測定テスト PROG（リアセック）



- 2016年2月に実施
- 本学が定めるコンピテンシーの修得状況について、学生による自己評価との相関を分析
- 結果の考察と学生へのフィードバック



# 卒業生調査

- 2015年11月～12月に実施
- 2014年度の卒業生 1,427名
- 大学として今後アクティブ・ラーニングの導入・定着と学修プロセス・成果の可視化に向け、その成果や課題について把握する
- 大学で学んだこと、培ったスキルと大学での授業やクラブ活動、各種行事・活動との関係
- 大学で培ったスキル等の社会での活用状況



## まとめ：FDの展開

- 学生の学修成果を軸にした成績評価の推進
  - ルーブリックを用いたパフォーマンス評価の研修会
  - 学修成果＝授業で到達目標にしているコンピテンシーの測定
  - 必要に応じてポートフォリオに記載された学生の学修プロセスを評価
- ディプロマ・ポリシーに掲げた能力の測定
  - アセスメント・ポリシーの確立



全学的な教学マネジメントの改善  
実社会に有効な学生のコンピテンシー開発